



**低侵襲最新医療システムのパイオニア**



# 株式会社ウイン・インターナショナル 個人投資家向け会社説明会 資料

WIN INTERNATIONAL CO., LTD.

証券コード:2744

株式会社ウイン・インターナショナル

代表取締役社長 秋沢 英海

<b>1. 会社概要</b>	.....	<b>3</b>
<b>会社概要</b>	.....	<b>4</b>
<b>2. 市場環境と事業内容</b>	.....	<b>8</b>
<b>日本の医療制度</b>	.....	<b>9</b>
<b>今後の選択肢</b>	.....	<b>10</b>
<b>低侵襲最新医療システムとは</b>	.....	<b>11</b>
<b>主要取扱製品</b>	.....	<b>12</b>
<b>3. 決算概要</b>	.....	<b>19</b>
<b>上期決算サマリー</b>	.....	<b>20</b>
<b>通期予想</b>	.....	<b>22</b>
<b>4. 今後の成長戦略</b>	.....	<b>24</b>
<b>新しい治療法、領域の拡大</b>	.....	<b>25</b>
<b>事業エリアの拡大</b>	.....	<b>27</b>
<b>5. テスコ社との経営統合</b>	.....	<b>28</b>
<b>経営統合の概要</b>	.....	<b>29</b>
<b>6. 長期トレンド・株価指標</b>	.....	<b>32</b>



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

# 1. 会社概要

---

社名及び由来：株式会社ウイン・インターナショナル

“New Innovative Wave”

～新しい医療周辺ビジネスの構築を通じて社会に貢献していく～

設立：昭和58(1983)年6月1日  
本社：東京都台東区台東4-24-8  
資本金：3億30百万円  
事業内容：医療機器販売事業  
代表者及び役員構成：代表取締役社長 秋沢 英海  
他、取締役 3名(うち、社外取締役 1名)  
監査役 3名(うち、社外監査役 2名)  
従業員：275名  
上場証券取引所：大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)

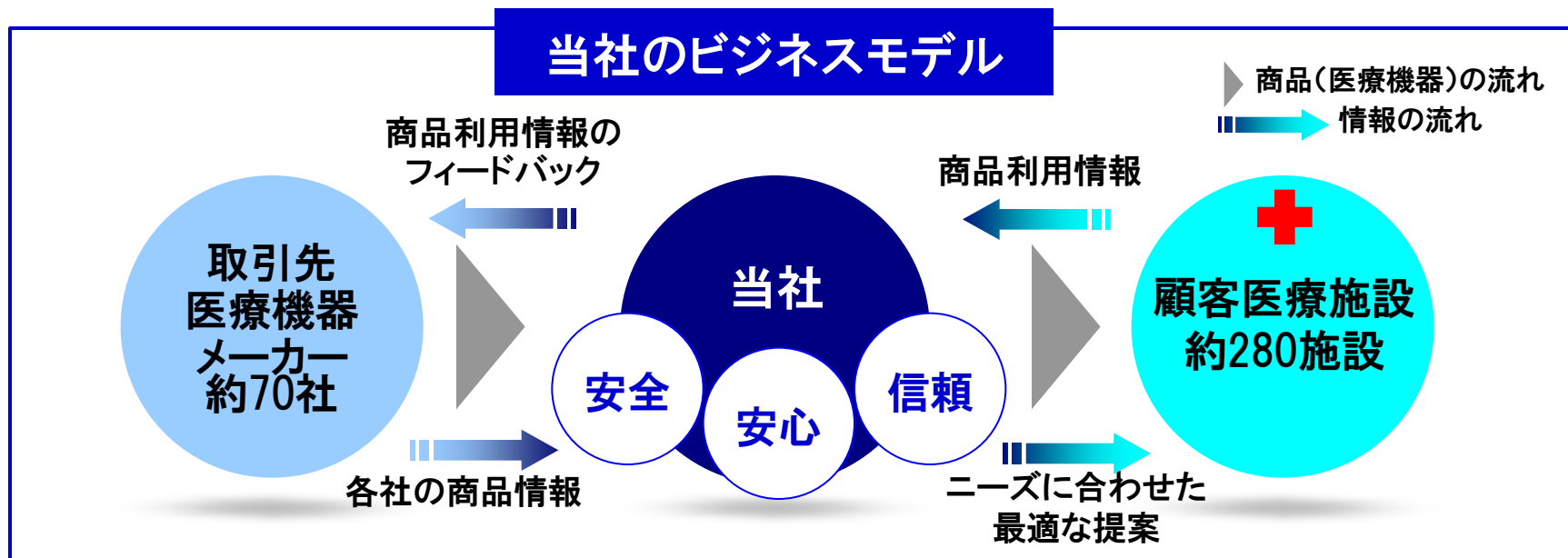
## ・ 循環器系の低侵襲治療分野に特化

⇒豊富な情報の蓄積

⇒営業スタッフの商品知識・技術知識は業界トップレベル

## ・ 心臓カテーテルの販売でトップシェア

⇒高度の知識レベルと的確な提案力で高い信頼性



## 医療機関の3極に対する総合提案力

それぞれのニーズ(医療の質、将来展望、収益性等)にあった最適な提案



**経営陣**



**医師**



**管理部門**

## ①: 病院経営の視点からの提案

それぞれのニーズに沿った提案

人材補強施策 / 設備投資施策 / 集患施策

量の拡大

業界をリードする  
体制の整備と運用

高い収益性

## ②: 専門性

- ・ 高度な商品知識、サービスの提供
- ・ 医療施設の高度医療化をサポート
- ・ 医療機器メーカーへの提案

## ③: 集中戦略

- ・ 顧客: 有力医療施設との取引拡大
- ・ 製品: 成長分野、高付加価値製品に特化
- ・ エリア: 首都圏での販売強化 → シェア拡大 (全国展開)



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

## 2. 市場環境と事業内容

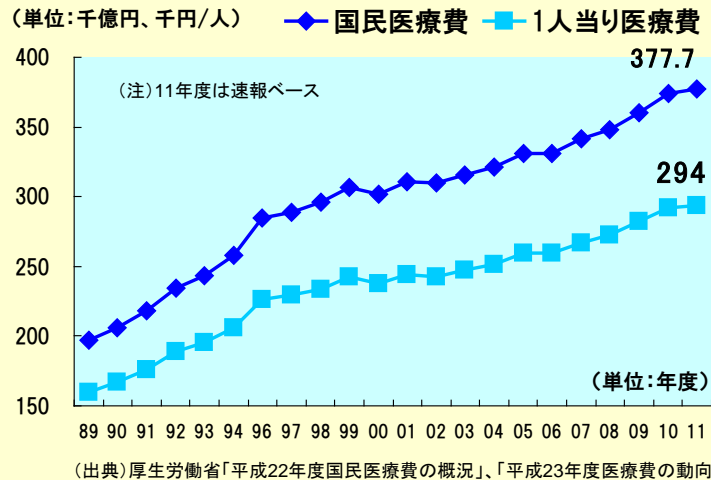
---



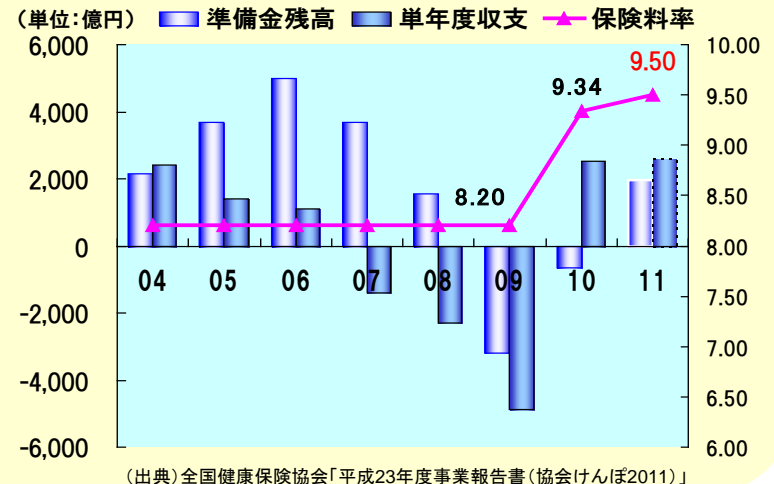
# 日本の医療は制度疲労を起こしている

## 医療制度の問題

### 国民医療費の増大



### 保険財政の逼迫

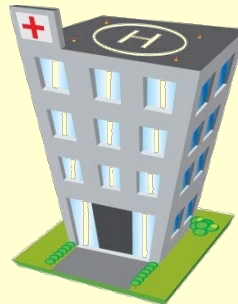


## 必要な取り組み

### 効率的・効果的な医療資源の配分



医療費の最適化  
適正化余地の追及



病院経営の合理化  
(集中と選択)

### 高品質・効率的医療の提供



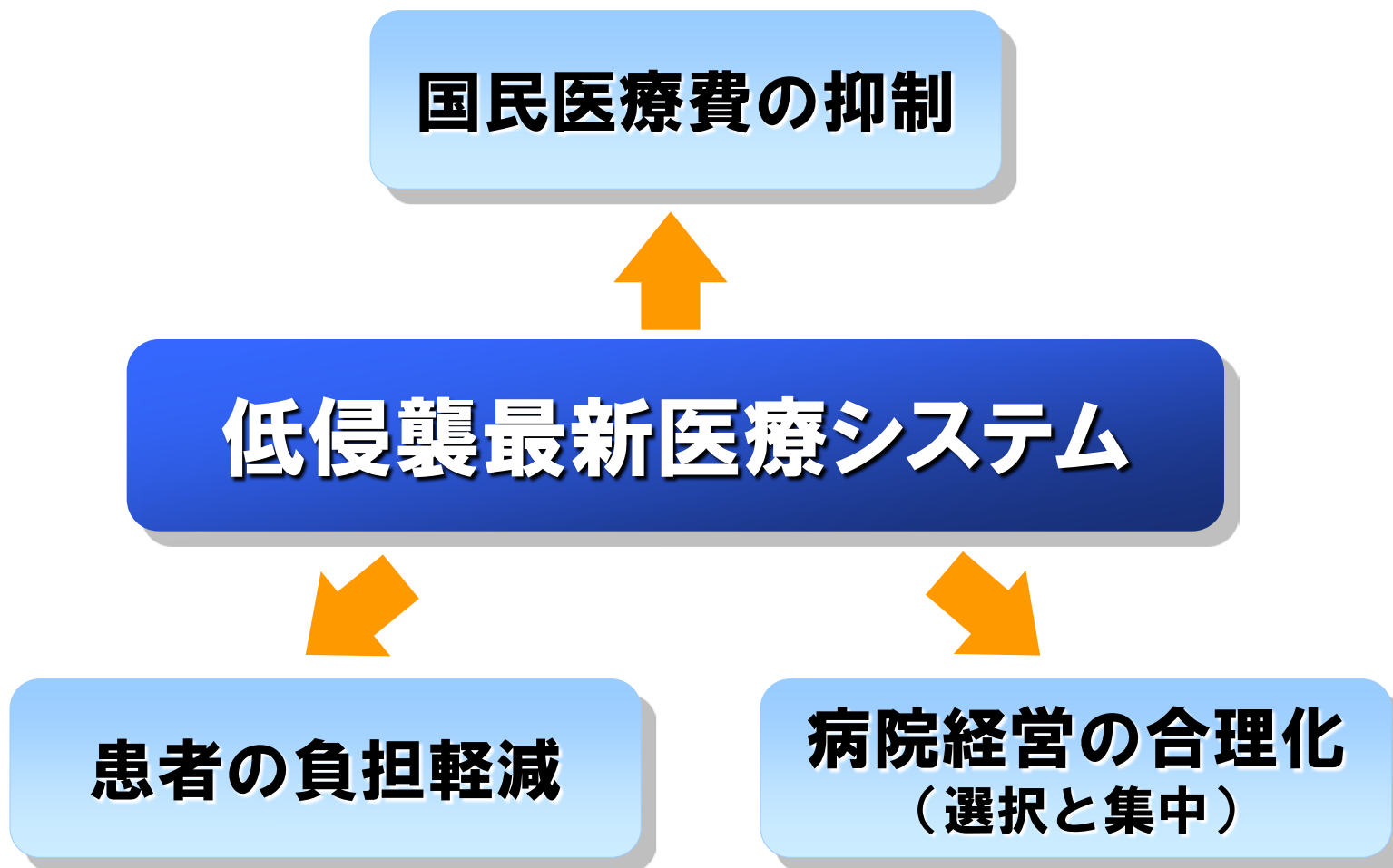
より効果的な治療  
必要とされる分野の充実



最新医療技術の  
促進・導入

# 今後の選択肢～高まる低侵襲医療の必要性

当社のビジネスは医療費削減と国民の健康に貢献する



## 低侵襲とは

検査や治療において、身体に対する侵襲、  
つまり**身体的負担（熱・出血・苦痛）**を  
**できるだけ少なくすること。**

患者様の**生活の質(QOL=Quality of life)**を向上  
させることが可能で、  
このような治療法が増えてきております。



## 低侵襲治療、心臓治療、糖尿病関連製品が主軸

**主要4製品群:** 虚血性心疾患関連(PCI)、心臓律動管理関連(CRS)  
心臓血管外科関連(CVS)、糖尿病関連(DMS)

### 主力分野

虚血性心疾患関連  
(PCI)



PTCA  
バルーンカテーテル  
79,100円



DES  
(薬剤溶出ステント)  
295,000円

### 注力分野

心臓律動管理関連  
(CRS)



CRTD  
4,090,000円

心臓血管外科関連  
(CVS)



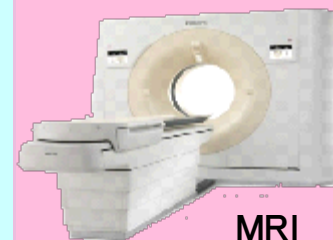
ステントグラフト(腹部)  
1,520,000円

糖尿病関連  
(DMS)



インスリンポンプ  
(レンタル・販売)

大型医療機器



MRI

数千万～数億円

特定保険医療材料：国が価格を決定（公定価格）2年に1度価格の見直し

# 虚血性心疾患関連(PCI)

## 経皮的冠動脈形成術

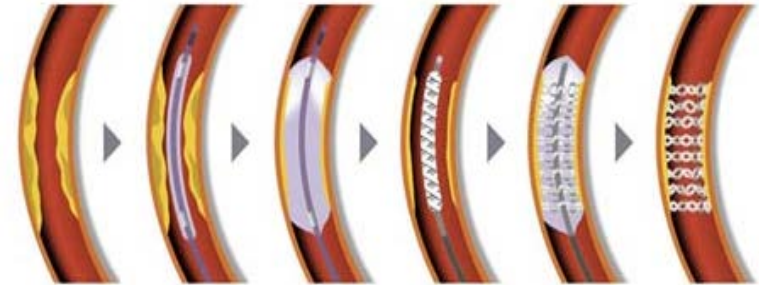
狭心症など血管が狭まり血流が悪化する疾患(虚血性心疾患)を血管内部から治療する方法

### PTCAバルーンカテーテル



狭窄(血管が狭くなること)箇所  
でバルーンを膨らませ、血管を広げ  
血流を改善させる。

〔治療イメージ〕

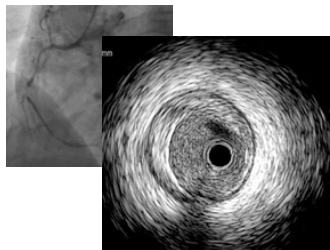


### DES(薬剤溶出ステント)

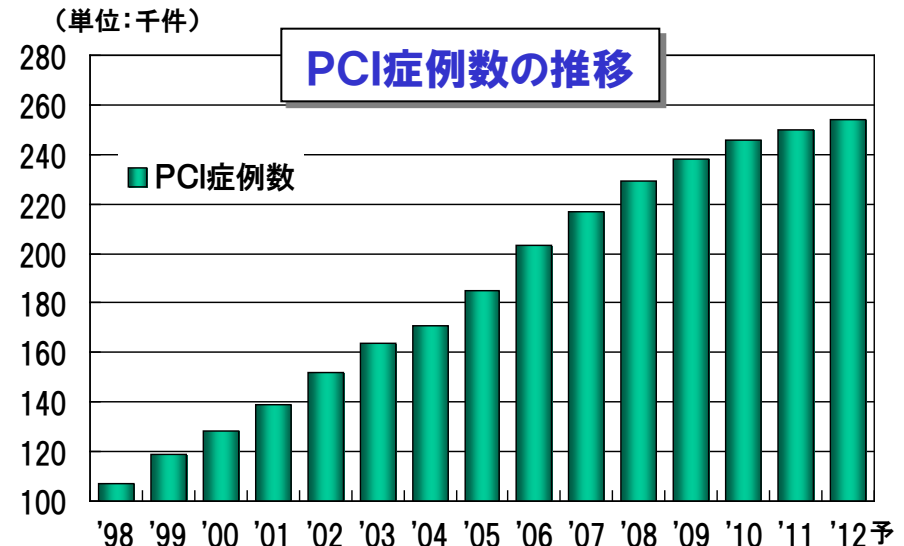


狭窄箇所  
で筒状の網目の金属(ステント)を留置し、再狭窄を防ぐ。  
ステントに再狭窄を抑制する薬剤が塗布されているものをDESという。  
薬は時間をかけて溶出する。

### IVUS(血管内超音波診断用カテーテル)



超音波で血管内部を映像化する  
診断装置用カテーテル。  
PCIの前後に使用する。



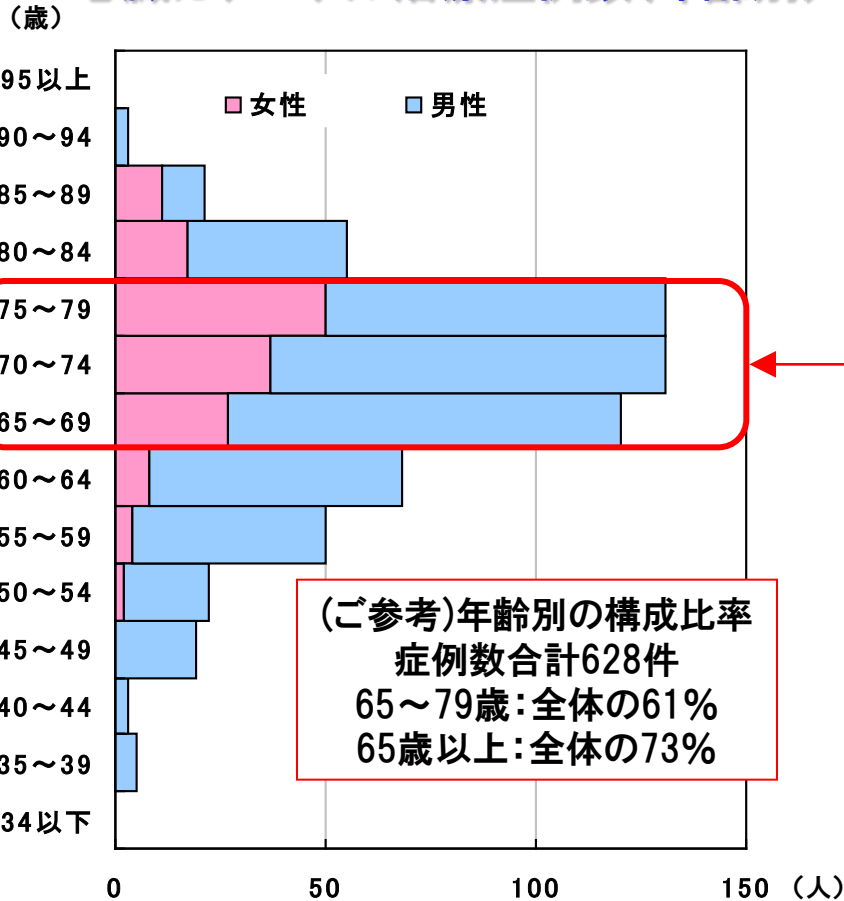
(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2012年版」

# PCI市場～高齢化が追い風

## ① PCIの中心患者は65歳～79歳

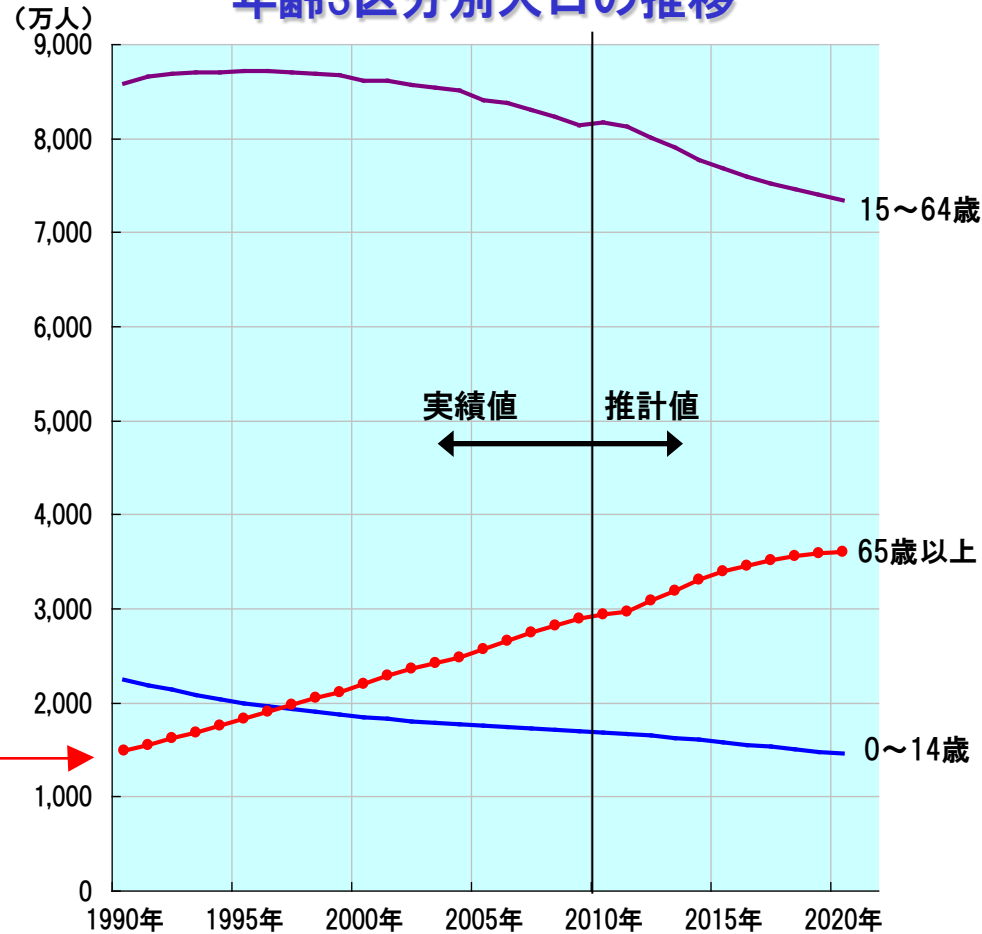
## ② 中心患者(65歳～79歳)人口が増加

### 心臓カテーテル治療症例数(年齢別)



(出典)当社取引先の3ヶ月間の年齢別症例数(2010年調査)

### 年齢3区分別人口の推移



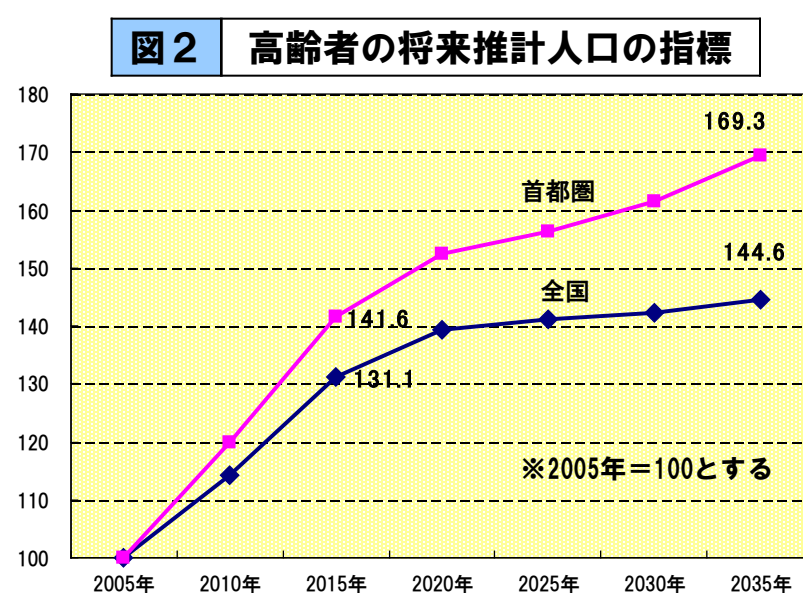
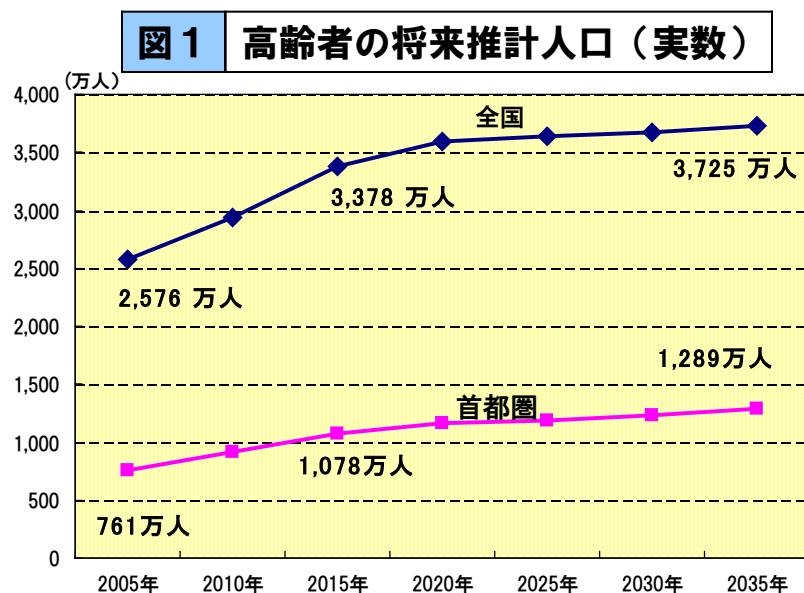
(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計) 14

## 高齢者人口が飛躍的に増加する首都圏

### ■2015年までの高齢者人口の動向

【首都圏の高齢者人口】《2005年》761万人 → 《2015年》1,078万人…約320万人増加（図1）。

【高齢者人口増加率】指標:2005年を100 → 2015年《全国》131.1 < 《首都圏》141.6（図2）。



（出典）国立社会保障・人口問題研究所 「日本の市町村別将来推計人口」（平成20年12月推計）



## ペースメーカー・ICD・CRTD移植術

心筋に電気刺激を与える医療機器を体内に埋め込み、心臓に異常拍動が生じた際には電気刺激を与え、症状を抑える治療法

### ペースメーカー



心臓の鼓動が途切れたことを検知すると、電気的刺激を心臓に送り、正常なリズムで鼓動させる

### ICD (植込型除細動器)



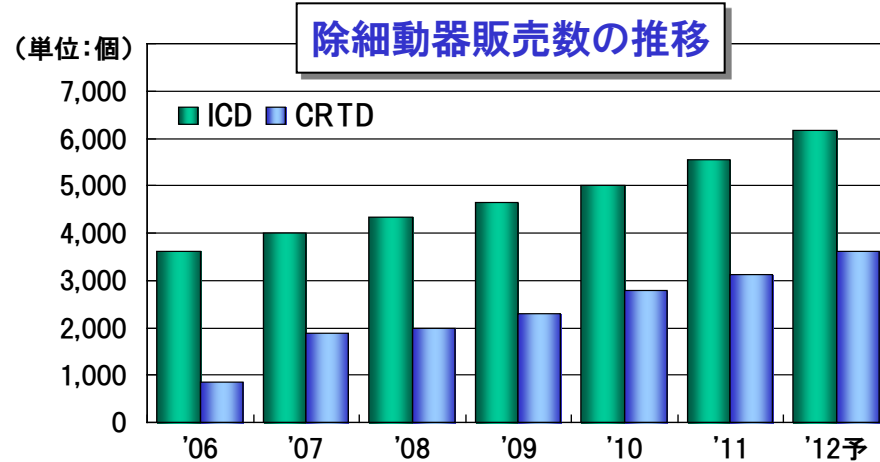
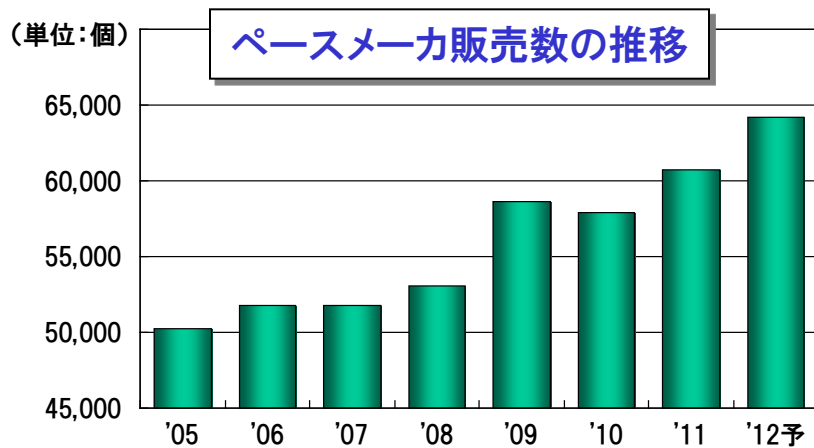
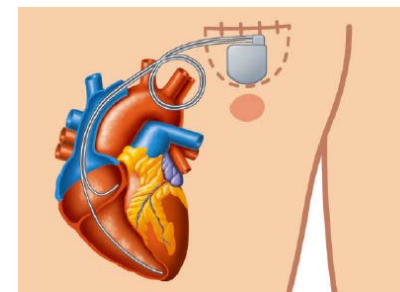
ペースメーカー機能に加えて、命に関わる症状が出た場合には、電気ショックで発作を止める機能がある

### CRTD (両室ペーシング機能付き植込型除細動器)



ペースメーカー機能、ICD機能に加えて、心不全を治療する機能がある

### 〔治療イメージ〕



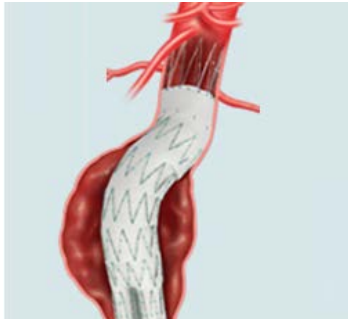
(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2012年版」



## ステントグラフト内挿術

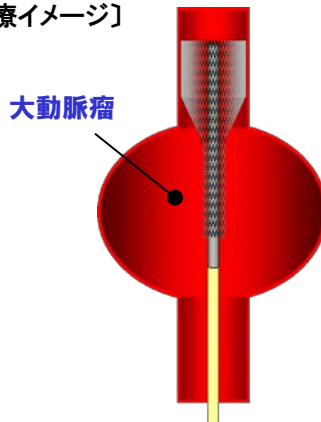
・大動脈瘤(腹部や胸部大動脈が瘤のように膨らみ、破裂すると死に至る危険がある疾患)を血管内部から治療する方法。

### ステントグラフト

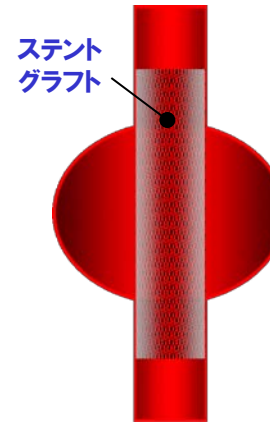


筒状の金属(ステント)がついた人工血管(=ステントグラフト)を患部で広げ、瘤内部への血流を遮断し、動脈瘤の拡大を防ぎ、破裂の危険性を低下させる。

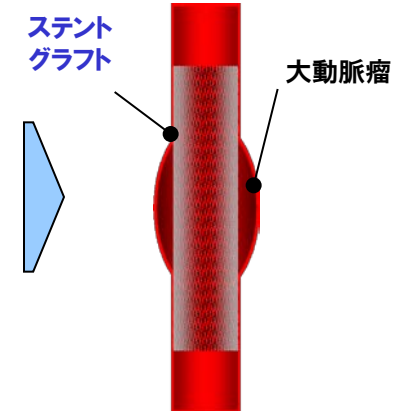
[治療イメージ]



大動脈瘤  
ステントグラフトをカテーテルで患部まで運ぶ。



ステントグラフト  
患部でステントグラフトを広げる。

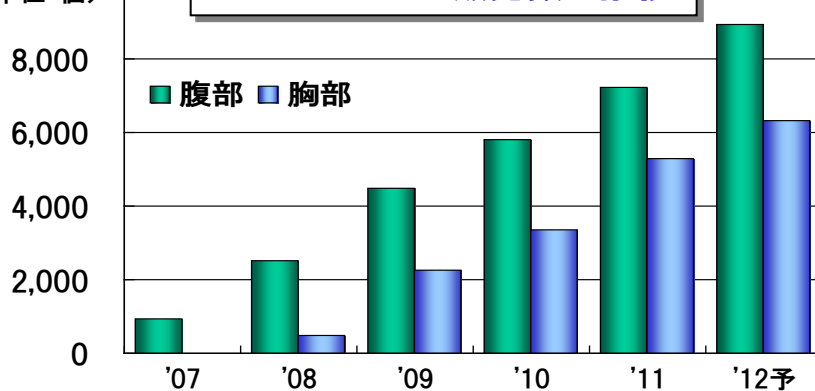


ステントグラフト  
大動脈瘤  
瘤への血液の流れが遮断され、瘤が縮小する。

\* 縮小しない場合でも破裂の危険性は低下

(単位:個)

### ステントグラフト販売数の推移



(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2012年版」

従来の治療法は、外科手術(開胸/開腹手術)が一般的だったが、最近では **低侵襲治療法であるステントグラフト内挿術**が普及し始めている。

【参考】

米国の人工血管置換術の内訳(2006年)  
外科手術:ステントグラフト手術 = **4:6**

## 画期的なインスリンポンプ療法の導入

- ・インスリンを持続的に注入するコンピュータ制御の小型医療機器による糖尿病の治療法
- ・患者の負担軽減によるQOL(生活の質)の改善が可能
- ・欧米では普及しているが、日本国内では普及が遅れている
- \* 現在、国内で一般的な治療法は インスリン自己注射療法

### 【糖尿病患者は2,210万人】

- ・糖尿病患者は全国に2,210万人と推定 (参考:「国民健康・栄養調査(平成19年)」)  
→糖尿病が「強く疑われる人」890万人、「可能性を否定できない人」の1,320万人

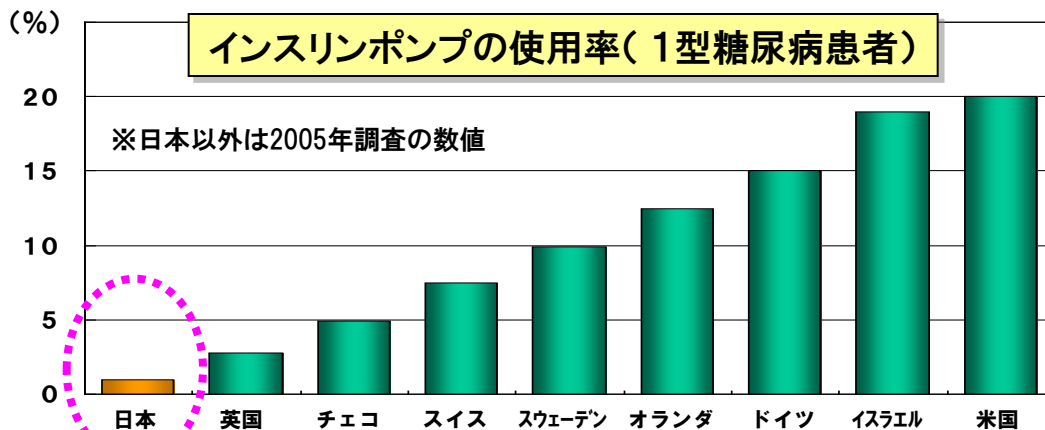
### 【業界に先駆けてインスリンポンプ療法の普及、啓蒙サポートを開始】

- ・合併症により循環器疾患となった患者にも対応  
\* インスリンポンプ療法の普及に取り組むとともに、糖尿病による合併症(循環器疾患)への対応サポート

## インスリンポンプ



血糖値変動の測定データをもとにインスリンの持続注入を行う。



(出典) Novo Nordisk Pharma Ltd. Online DITN 第386号(2010年)により当社作成

- ・日本のインスリンポンプ普及率は1%未満と推定。
- ・日本は欧米の5年前の普及率と比べても極めて低い。



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

## 3. 決算概要

---

# 上期決算サマリー

	2011年4-9月期		2012年4-9月期		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	15,685	100.0	15,536	100.0	▲ 1.0
営業利益	759	4.8	653	4.2	▲ 13.9
経常利益	763	4.9	659	4.2	▲ 13.6
四半期純利益	442	2.8	401	2.6	▲ 9.3
1株当たり四半期純利益(円)	36.24	—	32.92	—	▲ 9.2
1株当たり純資産(円)	552.30	—	598.96	—	+8.4

償還改定年ではあるが、売上高・売上総利益は前期並み

## 【事業環境】

償還価格改定 ⇒ 2012年3月期売上を基準とした場合、2013年3月期(通年)で約▲9%と試算

## 【上期の取り組み】

### ■ 人員の強化(前年同期末比較:+13名)

\* 新規開設の出張所、成長分野のDMS(糖尿病関連)に人員を重点配置

### ■ 新規顧客開拓(首都圏の強化、エリアの拡大)

・首都圏を中心に各エリアで営業活動を強化:注力エリア:関東北部エリア、中四国エリア

・出張所を開設:2012年2月 山口出張所、2012年4月 札幌出張所

### ■ 医療機関、メーカーとの交渉

\* 償還変更に伴う医療機関との販売価格の交渉が終結

下期はメーカーに対し、成功報酬プログラム等の条件交渉を推進

拡販施策に取り組みながら、来期以降に大きな効果が期待できる部門に投資

# 通期予想(2013年3月期)

	2012年3月期 (前期実績)		2013年3月期 (今期予想)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	32,957	100.0	34,049	100.0	+3.3
営業利益	1,648	5.0	1,652	4.9	+0.2
経常利益	1,657	5.0	1,657	4.9	+0.0
当期純利益	955	2.9	1,009	3.0	+5.7
1株当たり純利益(円)	78.23	—	82.74	—	+5.8
1株当たり配当金(円)	28.00	—	29.00	—	+3.6

通期予想に変更はない

分野	PCI	CRS	PPI(PTA)
	(虚血性心疾患関連)	(心臓律動管理関連)	(末梢血管疾患関連)
	<p>薬剤溶出ステント(DES)</p>  <p>筒状の網目の金属を血管内に留置し、再狭窄を防ぐ。</p>	<p>ペースメーカー</p>  <p>心臓の鼓動が途切れたことを検知すると、電気的刺激を心臓に送り、正常なリズムで鼓動させる。</p>	<p>末梢血管用 DES</p>  <p>太ももの動脈が詰まる「末梢動脈疾患」を治療するDES。 (*日米同時申請で、日本が先に承認)</p>
<p>新製品情報</p>	<p>【DES】 3月 BSJ_プロラスエレメント 5月 アボット_サイエンスプライム 9月 外トロ_レゾリュート 10月 BSJ_プロラスエレメントプラス</p>	<p>【PM】 10月 外トロ_アドバイザーMRI (MRI対応ペースメーカー)</p>	<p>【DES】 7月 クック_ジルバPTX (限定) →フルリリースへ</p>



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

## 4. 今後の成長戦略

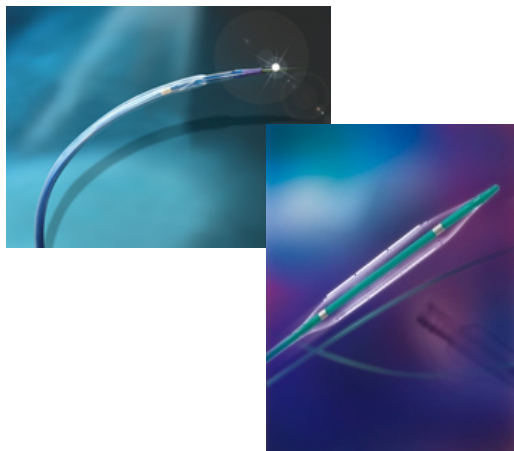
---



## “低侵襲治療”を心臓以外の領域へと拡大

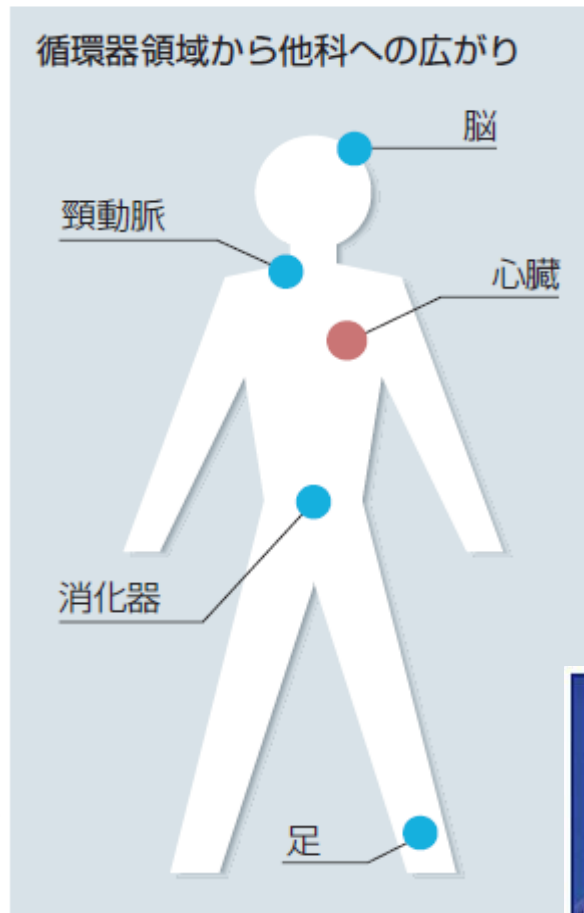
(下肢・頭頸部・腹部領域)

PTAカテーテル・マイクロカテーテル

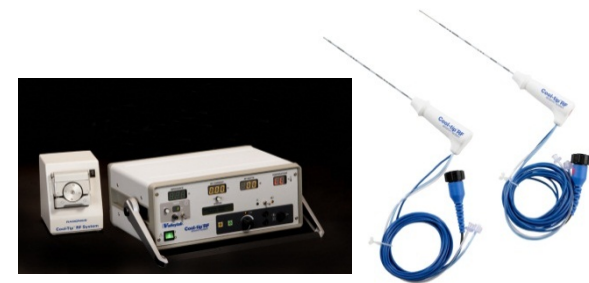


© 2005 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.

循環器領域から他科への広がり



RFAジェネレータ／ハンドピース



塞栓コイル／CAS(頸動脈ステント)



# 末梢血管疾患関連(PPI)に注力

## 経皮的末梢血管形成術

腹部動脈以下の下肢動脈や、頸動脈、腎動脈、上肢動脈などの血管が狭まり血流が悪化する疾患を血管内部から治療する方法。

\*PCIと比べ、マーケット規模は小さかったが、製品開発が活発化し、対象症例も増えたことから拡大が見込まれている。

### 診療報酬改定（手技料増額）

医療施設、医師への営業活動を強化

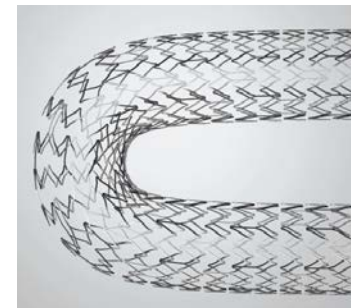
→医療施設の新規投資、症例開始、症例数増加

### 末梢ステント再狭窄抑制型(DES)が保険適用

7月クック社ジルバPTXが限定発売、症例数が増加

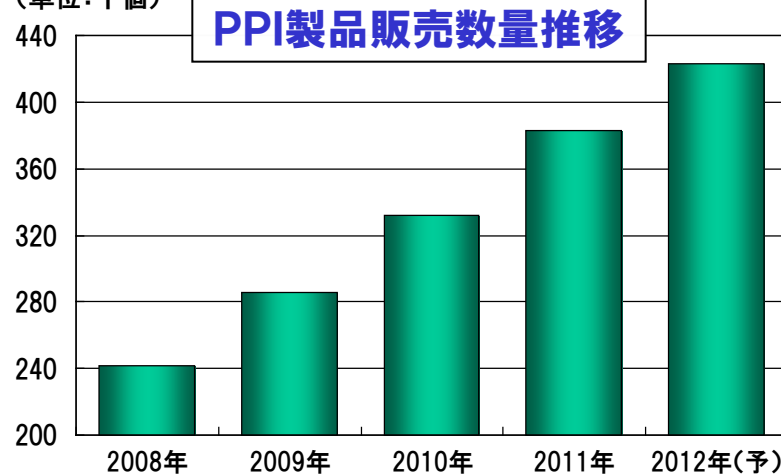
→限定販売から、下期フルリリースへ

## 末梢ステント



太ももの動脈が詰まる「末梢動脈疾患」を治療する筒状の網目の金属(ステント)。ステントに再狭窄を抑制する薬剤が塗布されているものをDESという。

(単位:千個)



(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2012年版」 26

# 事業エリアの拡大～主要都市の体制を強化

(医療機器販売事業)

＜エリアマネジメント＞  
第一～三営業部



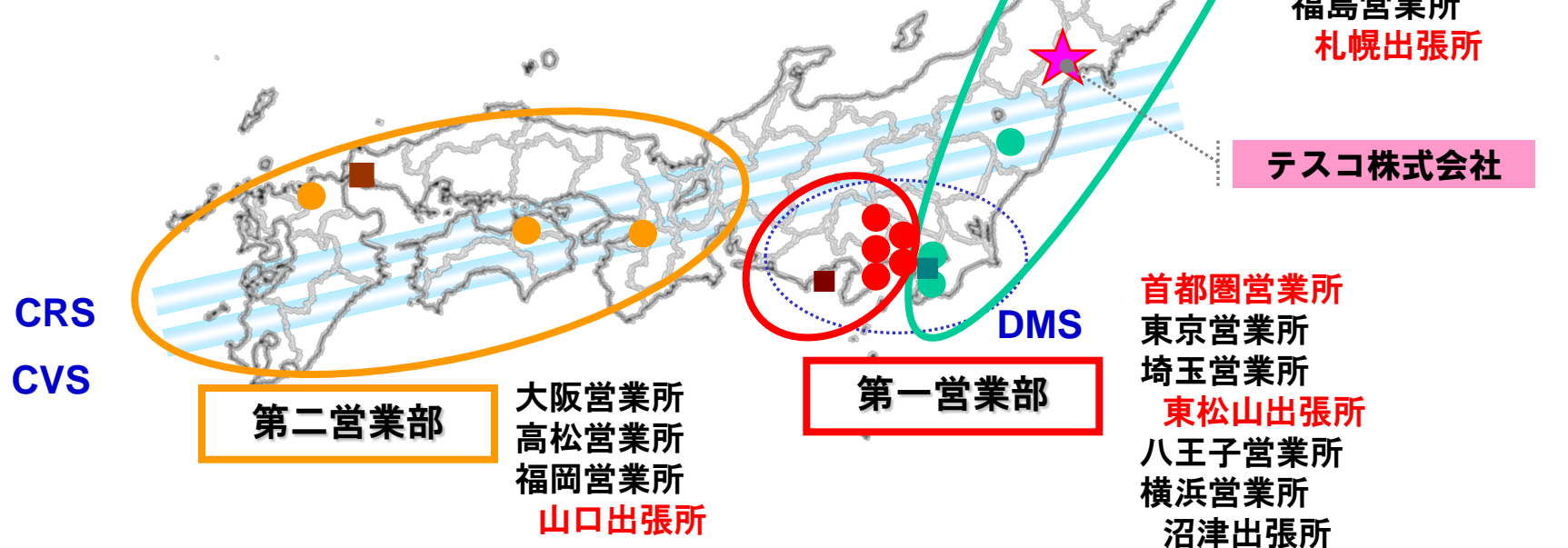
(医療施設支援事業)

＜企画営業部＞  
プランニング  
マーケティングサポート



＜セクションマネジメント＞  
CRS、CVS、DMS (※)

(※)「CRS」(Cardiac Rhythm Section):心臓律動管理関連の商品を扱う専門セクション。  
「CVS」(Cardiac Vascular Section):心臓血管外科関連の商品を扱う専門セクション。  
「DMS」(Diabetes Mellitus Section):糖尿病関連の商品を扱う専門セクション。





WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

## 5. テスコ社との経営統合

---

# 経営統合の概要

■ 名称：ウイン・パートナーズ株式会社（英文名：WIN-Partners Co., Ltd.）

■ 経営統合の形態：共同株式移転

■ 統合期日：平成25年4月1日（予定）

■ 上場：大阪証券取引所 JASDAQスタンダード

※ウイン・パートナーズ株式をJASDAQスタンダードに新規上場申請し、当社株式は上場廃止となる予定です。

## 統合スキーム

ウイン・パートナーズ株式会社

当 社

 WIN INTERNATIONAL CO., LTD



テスコ株式会社

## 【テスコ株式会社の概要】

本店所在地	宮城県仙台市青葉区木町1番1号	主な事業内容	医療機器・消耗品販売
代表者の氏名	代表取締役 秋田 裕二	従業員数	60名
設立年月日	昭和48年12月22日	売上高	8,380百万円(平成24年5月期)
資本金	20百万円	主な営業エリア	宮城県、福島県

## 【参考】当社+テスコ社（通期単純合算）

(百万円)	当社		テスコ社		合計	
	2012年3月期	構成比	2012年5月期	構成比	金額	構成比
売上高	32,957	100.0%	8,380	100.0%	41,337	100.0%
売上総利益	4,354	13.2%	1,222	14.6%	5,576	13.5%
営業利益	1,648	5.0%	396	4.7%	2,044	4.9%

## 【テスコ社の強み】

- ★ 宮城県での循環器分野のシェアNo.1、東北地方でもトップクラス
- ★ 高い利益率
- ★ 財務体質も優良

**1. 企業規模の拡大**

**2. シェアの拡大による  
価格交渉力・対応力の向上**

**3. 東北地方における営業基盤の確立、  
全国体制の推進**



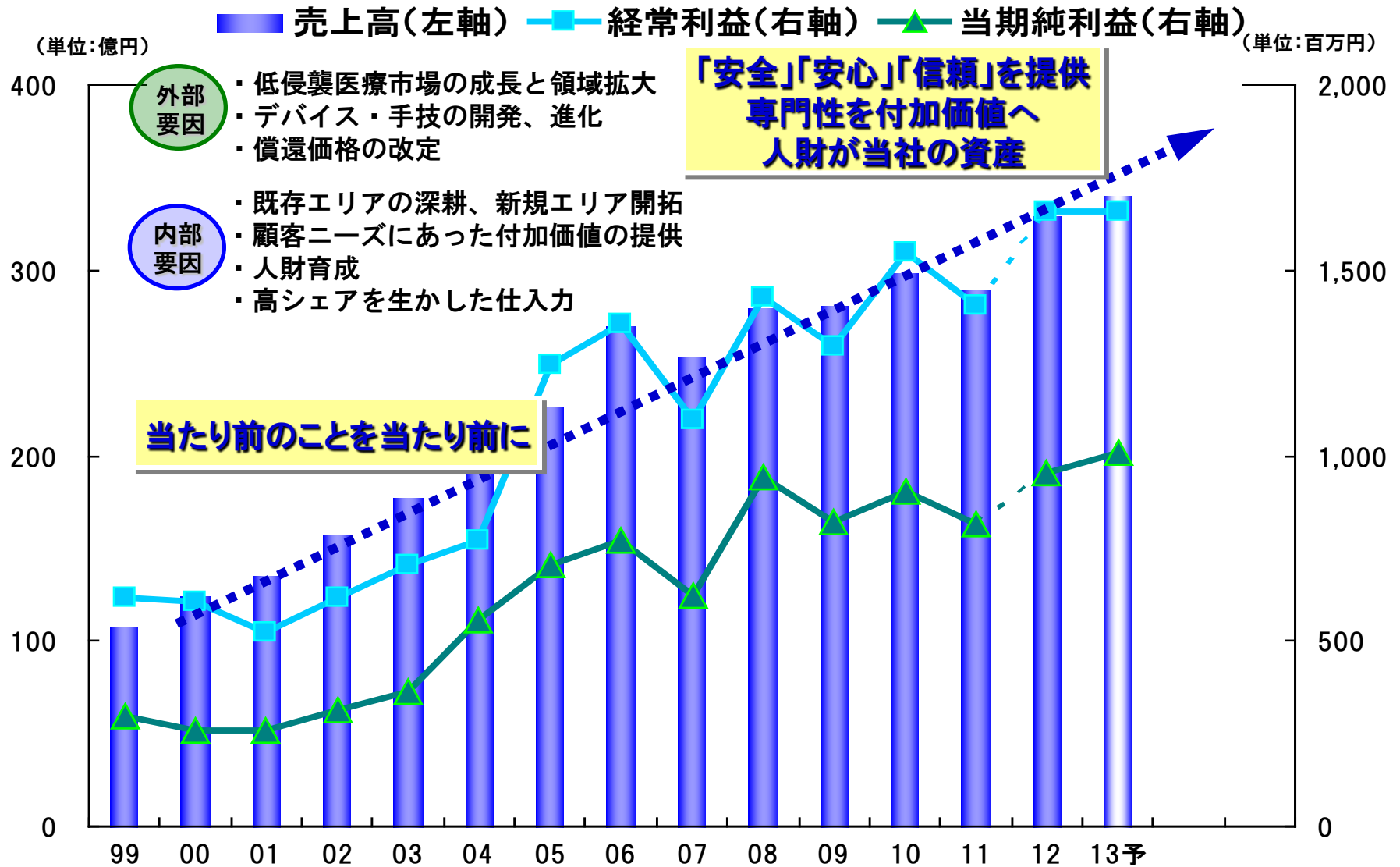
WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

## 6. 長期トレンド・株価指標

---



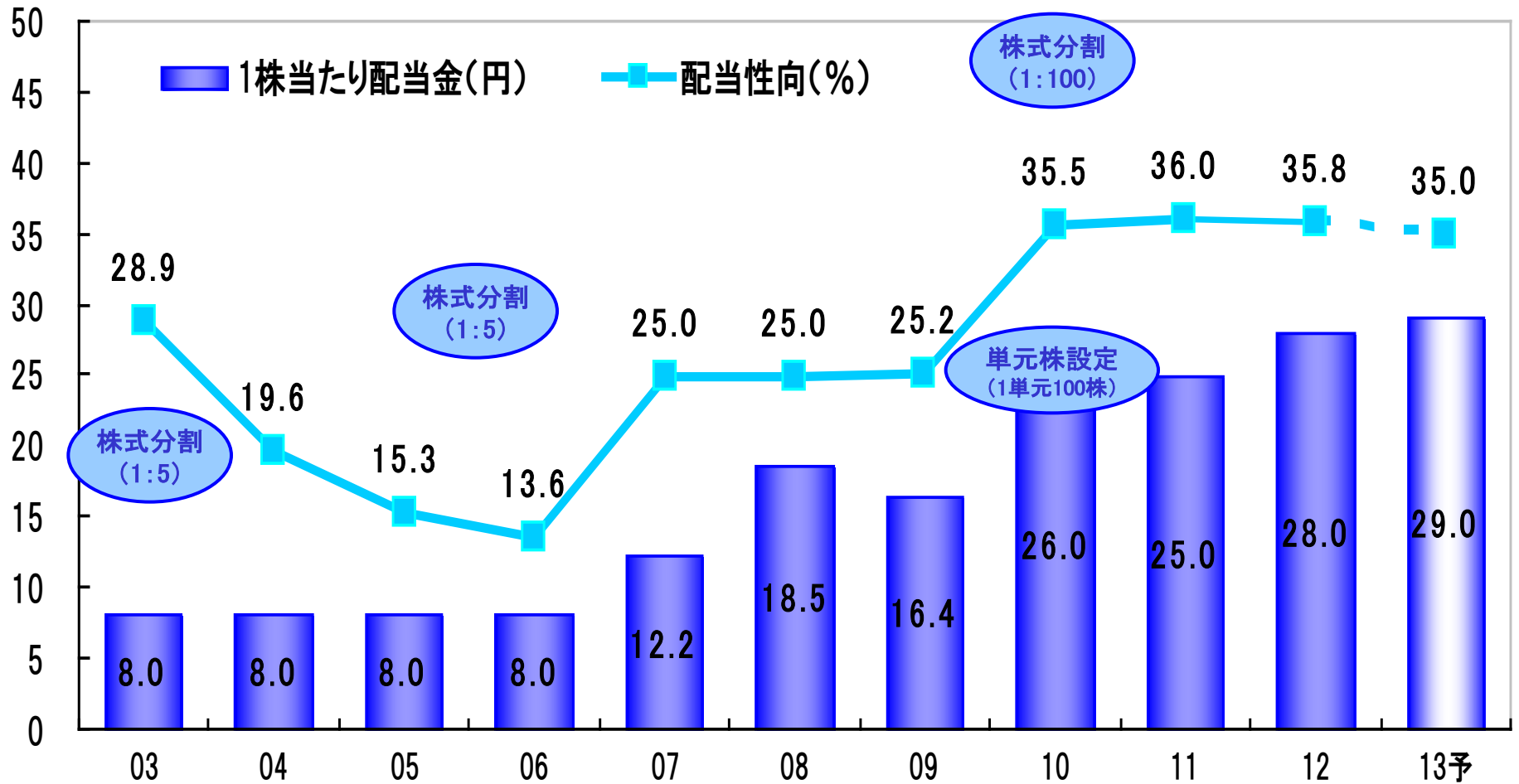
# 長期業績トレンド



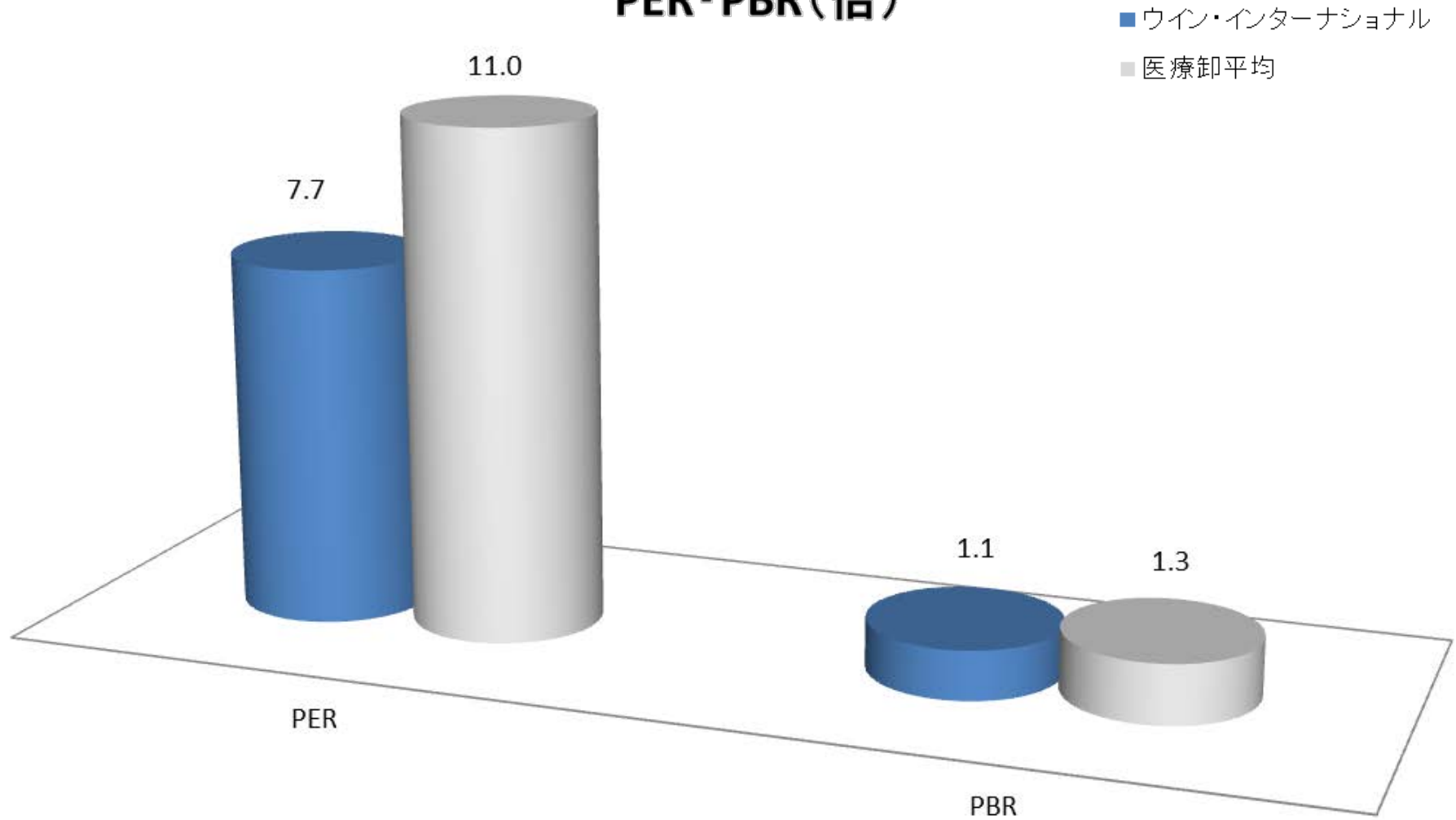
# 株主還元(配当性向35%以上)

## 株主還元策 配当性向35%以上を維持

(単位:円、%)



## PER・PBR(倍)

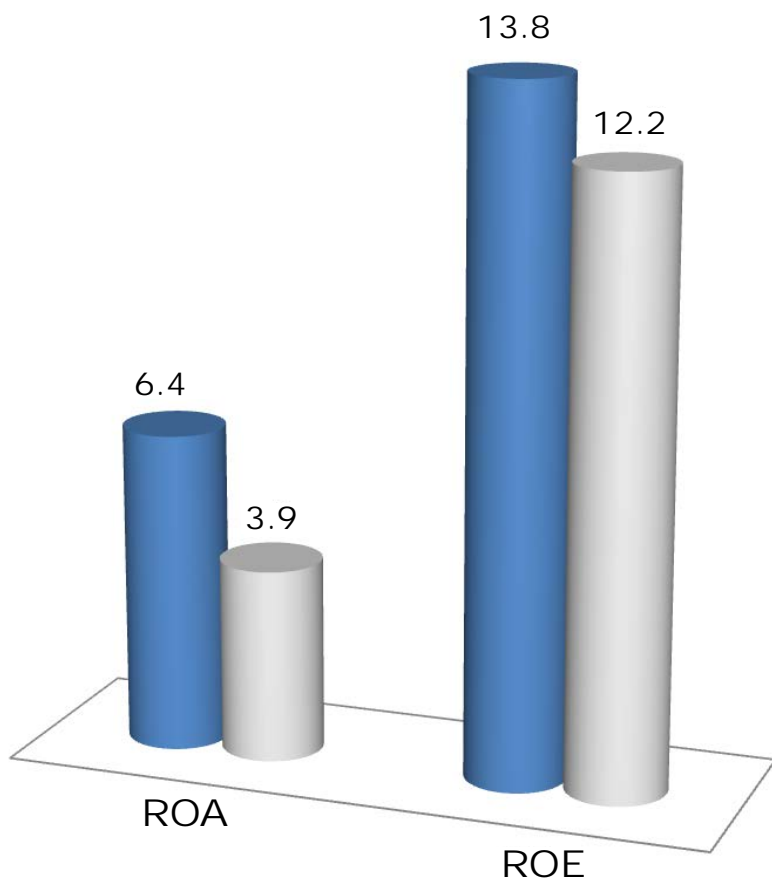


出所:KCR総研(2012年10月24日時点 医療卸平均はウイン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディービーエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近予想(※当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

# 収益性の分析

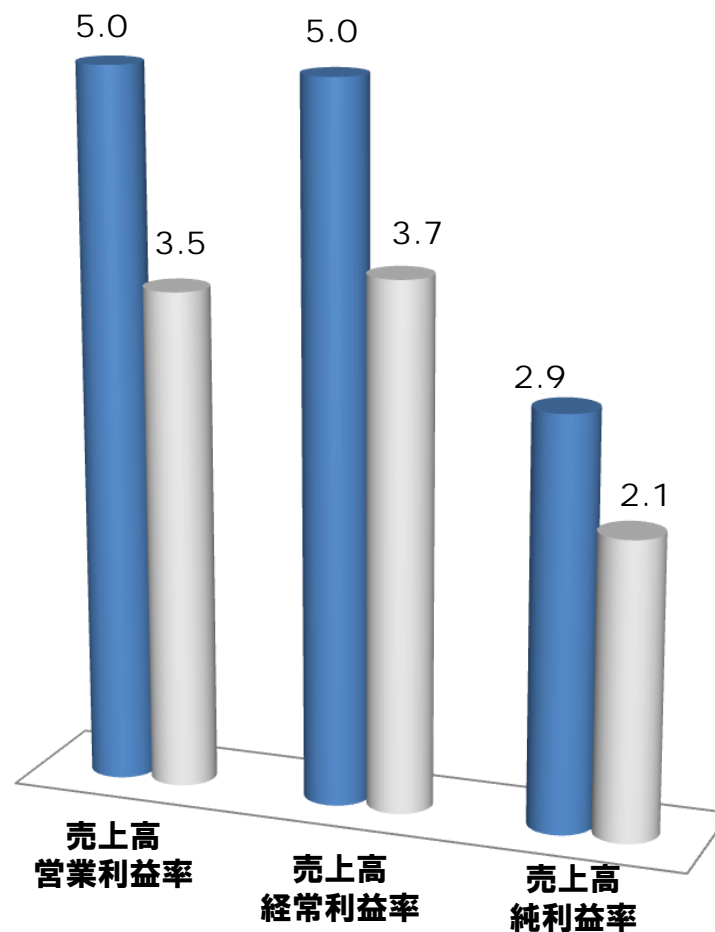
## ROA・ROE (%)

■ ウイン・インターナショナル ■ 医療卸平均



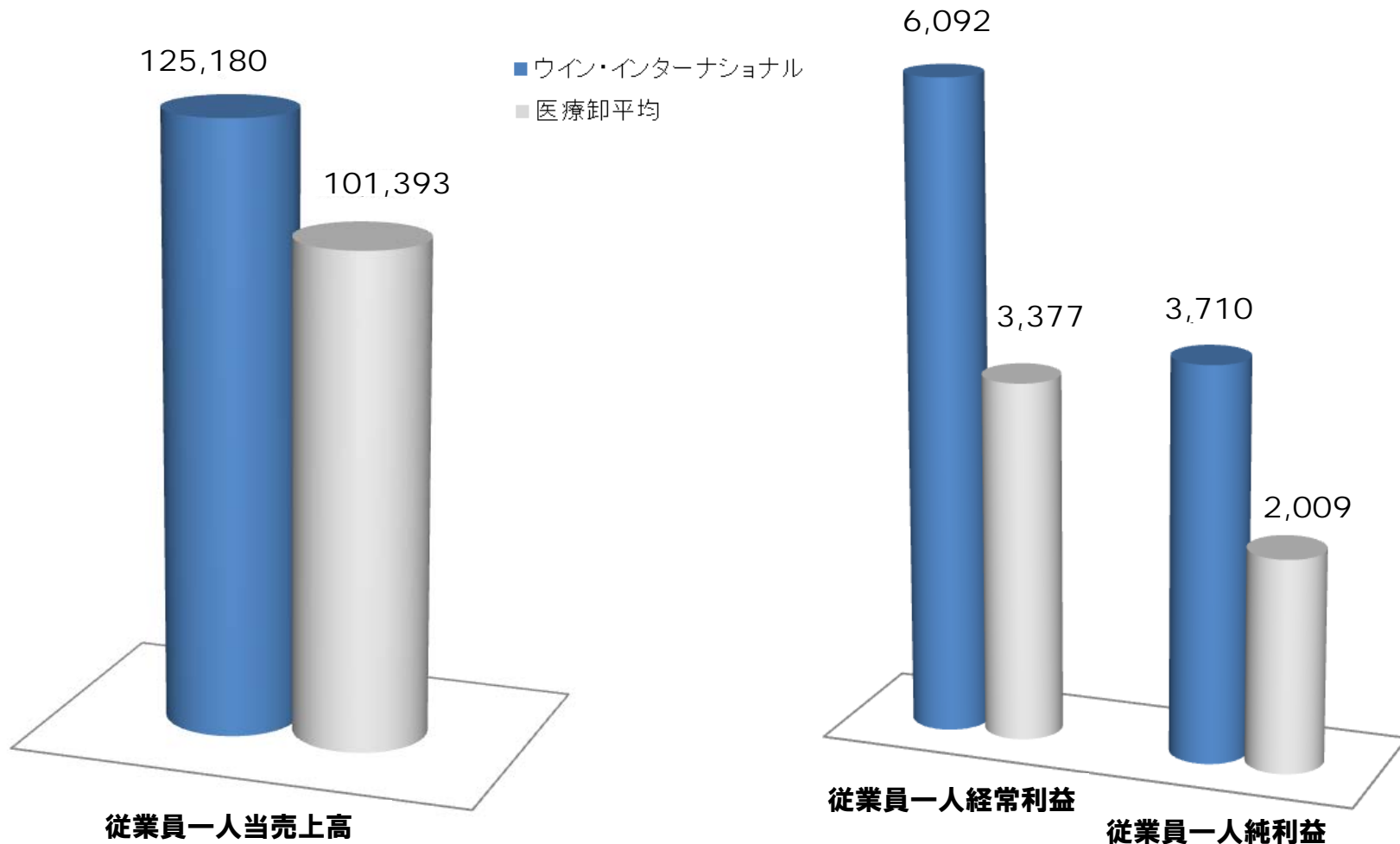
## 利益率 (%)

■ ウイン・インターナショナル ■ 医療卸平均

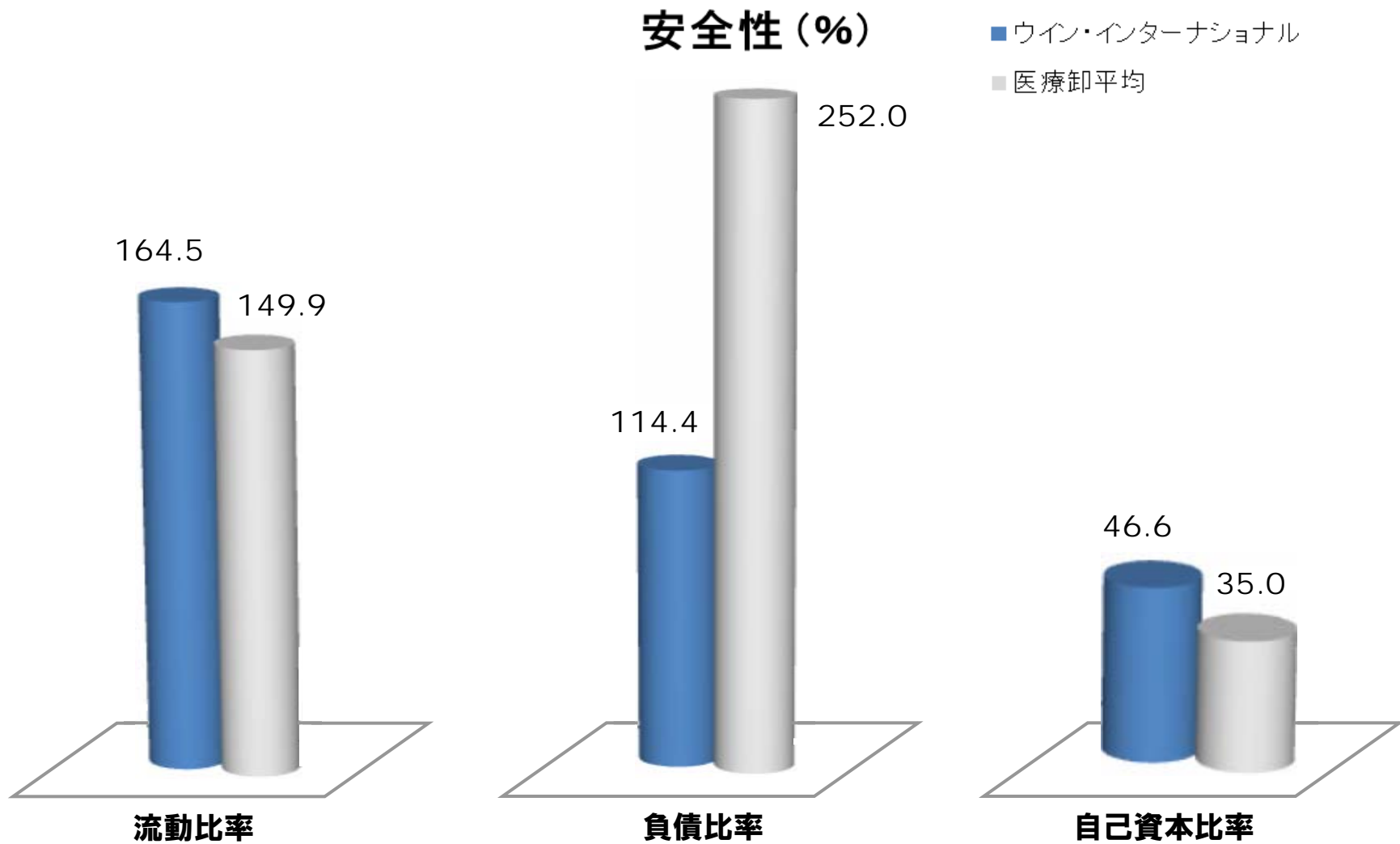


出所: KCR総研(2012年10月24日時点) 医療卸平均はウイン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディービーエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近会社予想(※当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

## 生産性(千円)



出所: KCR総研(2012年10月24日時点) 医療卸平均はウィン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シッフヘルスケアホールディングス、ディービーエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近会社予想(※当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)



出所: KCR総研(2012年10月24日時点) 医療卸平均はウイン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディービーエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近会社予想(※当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)